

リサイクルポート推進協議会（平成 28 年 12 月 14 日発行）

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

「今後の土壌汚染対策の在り方について（第一次答申案）」  
に関する意見募集（パブリックコメント）の結果及び  
環境大臣への答申について  
【環境省 平成 28 年 12 月 12 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度リサイクルポートセミナー開催の報告

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 高知県、次期港湾計画改訂に向け「須崎港長期構想」をとりまとめ
2. 国土交通省が技術基本計画の原案まとめ

=====

◇先週・今週の報道発表

「今後の土壌汚染対策の在り方について（第一次答申案）」  
に関する意見募集（パブリックコメント）の結果及び  
環境大臣への答申について

詳細は、下記をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/103347.html>

【環境省 平成 28 年 12 月 12 日発表】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度リサイクルポートセミナーの報告  
（平成 28 年 12 月 5 日）

第一ホテル東京シーフォートにて開催された、  
「平成 28 年度リサイクルポートセミナー」の報告です。（添付 PDF ご参照ください）

=====

## ◇リサイクルポートに関連する最新の情報

### 1. 高知県、次期港湾計画改訂に向け「須崎港長期構想」をとりまとめ

高知県は12月1日、須崎港の次期港湾改訂計画づくりに向けた「須崎港長期構想検討委員会（委員長：須野原豊日本港湾協会理事長）の第2回委員会を開催し、概ね20年～30年先を見据えた須崎港の長期構想をまとめた。今後は29年度に改訂港湾計画に向けた地方港湾審議会開催、ならびに国土交通省交通政策審議会港湾分科会への上程を経て同年度に港湾計画を改訂する予定。同港に不足している大型バルク船入港が可能となる大水深岸壁、南海トラフ等の津波・高潮から市民・財産を守り、企業活動を支える防災安全施設、ならびにクルーズ船受入等による港の交流・賑わいづくりを位置付ける方針。

このうち 物流機能の強化では、大峰地区と港町地区にそれぞれ大水深岸壁（水深13m程度）×1バースを予定。大峰地区ではセメント輸出や石炭輸入、また港町地区では輸入木材運搬船の大型化に対応し、地域産業の活性化を促進する。

【港湾空港タイムス】

-----

### 2. 国土交通省が技術基本計画の原案まとめ

国土交通省は12月2日に開催した「社整審・交政審第19回技術部会」において、平成29年度から5箇年を計画期間とする新たな「国土交通省技術基本計画（原案）」を提案して了承を得た。

同基本計画の方向としては、IoTやAI、ビッグデータ等を駆使した新たな生産性向上に向けた取組を徹底するとともに、▽安全・安心の確保、▽持続可能な成長と地域の自律的な発展、▽技術基盤情報の整備等の実現に向けた取組の推進、等を挙げている。

【港湾空港タイムス】

-----

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司           新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣           五洋建設（株）

          木村 竜也           東京都

          梅木 重光           (株)酒田港リサイクル産業センター

          新谷 聡            りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菖木

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp)   E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がございましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

## 平成28年度リサイクルポートセミナーを開催しました。

平成28年12月5日（月）、東京都品川区の第一ホテル東京シーフォートにおいて、「平成28年度リサイクルポートセミナー」を開催しました。

今回は、使用済み電気・電子製品等の国内外の資源循環や有用金属の回収・平成28年4月に発生した熊本地震の被害状況や災害廃棄物対策等の講演を企画し、約80名の皆様にご参集いただきました。



会場の様子

開会にあたり、国土交通省 港湾局 海洋・環境課 課長の佐々木宏様よりご挨拶をいただいた後、次のような講演をしていただきました。

まず基調講演として、「使用済み家電製品等の国際循環の適正化について」と題して、国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 副センター長の寺園淳様にご講演いただきました。電子電気機器は資源性と有害性を兼ね備え、資源性物質の効率的な回収と有害物質の適切な管理が必要であるのご説明いただきました。

続いて、「環境省 リサイクル行政の動向」と題して、環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 リサイクル推進室 リサイクル推進室長補佐（総括）の高林祐也様にご講演いただきました。リサイクル行政の国際動向と3R施策への影響、小型家電リサイクル、家電リサイクル、エコタウン事業についてお話いただきました。

次に、「使用済み電子部品(E-scrap)からの金属回収と二次原料としての可能性」と題して、エコシステムジャパン(株) リサイクル原料部の岡田侑季様にご講演いただきました。全世界で同社が展開するE-s-c-r-a-pからの回収事業についてご説明され、将来的な展望についてもお話いただきました。

最後に、「災熊本地震の災害廃棄物対策について」と題して、環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 災害廃棄物対策室 室長補佐の荒井昌典様にご講演いただきました。平成28年4月に発生した熊本次戦の際の被害状況や災害廃棄物対策などについて災害時の廃棄物対策のポイントなどについてお話いただきました。

参加者の方々からは、「金属の国際循環や災害廃棄物対策などの貴重なお話しが聴けて参考にな

った」との声が寄せられました。

講演後には交流会も開催され、活発な意見交換がなされました。ご来場いただきました皆様にはあらためて御礼申し上げます。



国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 寺園様 講演



環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課リサイクル推進室 高林様 講演



エコシステムジャパン(株) リサイクル原料部 岡田様 講演



環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 災害廃棄物対策室 荒井様  
講演